※令和３年度以前入学生用

学校番号	3008

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	実用国語	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	「いきいきとアライブ国語常識　総合演習・実践対策」（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・就職や進学に役立つ教養や知識を積極的に身につけましょう。
・常用漢字に読み慣れ、就職や進学に備えた国語力を身につけましょう。
・「他者に読んでもらう」ことを前提とした、丁寧な文章や字を書きましょう。
・演習を通して、相手の意図を正しく理解する能力を養いましょう。
・提出物は内容をよく確認し、期限を必ず守るようにしてください。

２　学習の到達目標

・正確な伝達のための文章表現力を育む。
・学習した漢字や語彙を進学や就職活動に活かすことができる。
・演習を通して自己理解や自己分析ができるようになる。
・目的や場に応じた正しい言葉遣いで、コミュニケーションをとることができる。
・相手を意識した丁寧な文章や字を書くことができる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、正確な伝達のために、漢字や語彙力の向上を図ろうとしている。	社会に出た時や進学・就職を想定し、目的に応じて話を聞こうとしたり、話し合いをしようとしたりしている。	進学・就職活動を想定し、目的に応じた文章を作成しようとしたり、適切な語句や漢字を書く力を身につけようしたりしている。	文章を的確に読み取り、言葉の特徴やきまりについて理解し、場面に応じて使うことができる。	目的や場面に応じた、正しい言葉遣いや文章を理解し、必要な知識を身につけようとしている。
評価方法	行動の観察 記述の点検（ワークシート、振り返りシート等）	行動の観察（学習活動における発言内容や態度）	小テスト 定期考査 記述の確認（意見文などの作成した文章）	小テスト 定期考査 記述の確認（ワークシート等）	小テスト 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	SPI特集	四字熟語 空欄補充 文の並べ替え 同意語･反意語 二語の関係	○				◎	a:進学や就職に必要な知識を積極的に身につけようとしている。 e:SPI などの演習問題を通して、目的に応じた国語に関する知識を身につけようとしている。	a:行動の観察 e:定期考査
	基本編	総合問題　第1回～第6回	○		◎		○	a:学んだ漢字や語句を意欲的に暗記しようとしている。 c と e:学習した常用漢字や語句を作成した文章やワークシートを通して積極的に使おうとしている。	a:行動の観察 c:小テスト e:定期考査
2学期	必修編	総合問題　第1回～第6回	○		◎		○	a:学んだ漢字や語句を意欲的に暗記しようとしている。 c と e:学習した常用漢字や語句を作成した文章やワークシートを通して積極的に使おうとしている。	a:行動の観察 c:小テスト e:定期考査
	表現編	進路へ向けて 自己分析 自己 PR	○	◎	◎			a:進学や就職に必要な知識や文章力を積極的に身につけようとしている。 b とｃ:課題や文章作成に取り組みながら、自己理解を深めようとしている。	a:行動の観察 記述の点検 b:行動の観察 c:定期考査
	対策編	敬語の基本	○	◎	○			a:進学や就職に必要な知識や文章力を積極的に身につけようとしている。 b:場面に応じて適切な敬語を話すことができる。 c:課題や文章作成の中で積極的に敬語を使おうとしている。	a:行動の観察 b:行動の観察 c:小テスト
3学期	標準編	総合問題　第1回～第6回	○		◎		○	a:学んだ漢字や語句を意欲的に暗記しようとしている。 c と e:学習した常用漢字や語句を作成した文章やワークシートを通して積極的に使おうとしている。	a:行動の観察 c:小テスト e:定期考査

※令和３年度以前入学生用

	対策編	手紙の書き方①～③	○		◎		○	a:進学や就職に必要な知識や文章力を積極的に身につけようとしている。 ｃと e:手紙の書き方や時候の挨拶について理解し、場面に応じて使うことができている。	a:行動の観察 c:記述の確認 e:定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す能力・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。